

2024年10月30日

ほしざらサロン 2024年9月議事録

文責：阪本 麻裕

日 時： 2024年9月28日(土) 18:00~21:00

場 所： プラネタリウム事務所, ドーム

参加者： 阿部, 高木, 永井, 濱島, 広滝, 宮田

(50音順、敬称略)

見学者： 片岡さん

職 員： 小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

計 11名

* リモート (Microsoft Teams, Zoom) 参加者はなし

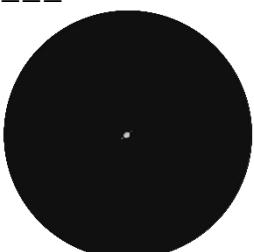
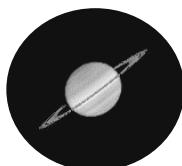
I. 次回 10月12日(土)のほしざらウォッチング「細い環の土星」について

===== 予定 =====

19:30~20:00 プラネタリウムでの解説

20:00~21:00 天体観望 @アクアドーム前広場

※ 雨天時は天体観望を中止し、プラネタリウムでの解説のみ行う。



角田： 夕方東の空から昇ってきている。来年の春には環の消失※¹が起きるが、見かけの位置が太陽に近いため、その様子を見ることができない。タカハシ屈折望遠鏡で200倍ほどの倍率※²で観察するのかどうか。今の状態であれば環のすき間は見えないため、すぐに見終わってしまうかもしれない。月[月齢9.7]も見るか。

宮田： 月より土星の方が高度は高い。対空双眼鏡はなくても良いと思う。

土星(247倍)

角田： 20時で月の高度は35度。多目的広場側に望遠鏡を設置しないといけないかもしれない。ビクセン屈折望遠鏡で月を見ようと思う。

【使用機材】

・タカハシ 10cm 屈折式望遠鏡②	土星)
・タカハシ 10cm 屈折式望遠鏡③	土星	
・ビクセン 8cm 屈折式望遠鏡②	月	
・ビクセン 8cm 屈折式望遠鏡③	月	

高倍率で観望予定

※1…土星の環はたいへん薄いので、横向きになるとほとんど見えなくなる。15年に1度の周期で起こる。

※2…“望遠鏡(対物レンズ)の焦点距離 ÷ アイピース(接眼レンズ)の焦点距離”で求められる。

2. 2025年初回のウォッチング実施日について

例年、観望会は年4~5回開催している。夏至のころの太陽の観察会、中秋の名月の時期のお月見の観望会の日程は決まりつつある。他にも候補日があれば検討をしたい。まずは、2024年10月12日(土)が今年最後のウォッチングのため、次回のウォッチング実施日を決定し、告知をしたい。

宮田：木星を見る回を設けたい。

角田：3月15日(土)または22日(土)は候補日としてどうか。15日(土)は満月の次の日、22日(土)は下弦の月である。

宮田：すばるも見たい。月の影響がない方が良いかもしない。

===== 2025年初回ほしづらウォッチング(予定) =====

3月22日(土)「すばる・木星・冬の星座」 19:30~20:00 プラネタリウムでの解説

20:00~21:00 天体観望

※ 雨天時は天体観望を中止し、プラネタリウムでの解説のみ行う。

3. 出張観望会(アウトリーチ活動)について

小・中学校、PTA、地域コミュニティ、町内会・子ども会など非営利組織の方々を中心に、望遠鏡や双眼鏡で天体を見ていただく出張観望会を行っている。

- ・10月26日(土)18:00~19:30 宮若トレッジ
-->17時にプラネタリウム事務所集合でお願いします。
- ・12月26日(木)18:00~19:30 玄海地区コミュニティ・センター

4. ほしづら合宿(宿泊研修)について

例年、プリンセス駅伝開催に伴う休館日に併せて、熊本県の清和高原天文台にてほしづら合宿を行っている。今年は月齢を考慮し、10月5日(土)、6日(日)に実施する[参加人数12名]。

えびすぱーなの目の前まで高速道路が延長されたため、例年より少し早めに到着できそうだ。

-->2時間~2時間30分で到着することができた。(10月5日追記)

5. 11月以降の活動について

- ★11月16日(土) ほしづら友の会(13:30~16:00 火薬ロケット打ち上げ)
- ★11月30日(土) ほしづらサロン・Xmasツリー飾り付け(18:00~21:00)
- ★12月7日(土) ほしづら友の会(9:30~10:45 流星について)
- ★12月21日(土) ほしづらサロン(18:00~21:00)

12月の土曜日・日曜日のこども向けプログラム(11時・14時の回)の際に、サンタやトナカイ等の格好でお出迎えやお見送りをする。

次回のほしづらサロンは、2024年11月2日(土)です。